

ふるさと歴史散歩

〔第176回〕 松崎八幡宮と総社の争論 その一



江戸時代の第五代將軍綱吉の治世下に元禄時代がある。

館林城主の地位から將軍となつた綱吉は、第四代將軍家綱の時代から大老酒井忠清の専横を押さえ、農政や経済政策に力を入れて「天和の治」と称される善政を行った。

そして「元禄文化」を生んだ時代でもあった。尾形光琳や乾山、野々村仁清、俵屋宗達らの華麗な書画・陶芸などの美術工芸品、さらに、松尾芭蕉、井原西鶴といった俳人や、歌舞伎の近松門左衛門や初代市川団十郎が活躍した。

あの豪華な友禅もこの時代に生まれた。

この元禄十年（1679年）頃から幕末までの期間、藝州府中村では松崎八幡宮と総社との間で幻の「多家神社」の所在を巡って、「それは我が方だ、いや違う、こちらだ」と相方譲らない神官同志の本家

争いが生じた。

江戸時代のいつごろか不明だが、府中村の中央部を北東から南西方向に流れる榎川をはさんで北の総社を氏神とする氏子連中、南の松崎八幡宮を氏神とする氏子連中に二分されるようになった。

石井城一丁目の小路の角に建っている「下久瀬の石灯笼」は府中村の「北郷連中」と彫られ、北の人達が建立したとあり、府中村が八幡社と総社を中心に南北二つの氏子に分かれていたのは確かである。

この争論は、最初は神社の位階問題で神官同志に限定されたものであったが、後には村人を巻き込み南北氏子の対立が深刻な争いとなった。

そして、ついには府中村を「南北二つに分ける解決案」を藩府に提出されるまでになり、事態は混迷を深めた。

藩府も事態收拾に何度も乗り出したが、その度に不調に

終わった。

しかし、南北氏子連中が藩府に願ひ出た「両組百姓共申立候南北村分ヶ之儀」（府中村を二つに分ける案）（中略）については、流石に「甚以心得違之事」（大変間違っている）であるとして、手順を踏んで願ひ出るよう門前払いにしている。

もし、藩の御役人の冷静な判断が無かつたならば、府中町は府中北村と府中南村となる。う。

いつの時代でも、何が正しいのか冷静な行政判断が必要である。



尾形光琳筆 燕子花図屏風

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

朝パツ君ネットワークおすすめレシピを紹介

パツとカンタン!

朝パツ君レシピ

たこめし

たこめしで、かむ・COME 歯ッピー!!



たこは、噛み応えがある大きさに切るとおいしいですよ!しょうがを入ると風味が引き立ちますよ!

材料(4人分)

- ゆでだこ 100g
- しょうが 1かけ
- ごぼう 10cm長さ
- にんじん 1/4本
- 油揚げ 1/2枚
- 干しいたけ 2枚
- 干しいたけの戻し汁 100cc
- さやいんげん 3本
- 砂糖 小さじ2
- しょうゆ 大さじ1/2
- 酒 大さじ1
- 塩油 小さじ1/4
- 適量

作り方

- ① 材料を切る。
【たこ】食べやすい大きさ（冷凍の場合は大きさ1の酒(分量外)で下味をつけておく）
【しょうが・にんじん・油揚げ】千切り
【ごぼう】ささがき
【干しいたけ】水に戻して千切り
【さやいんげん】塩ゆでし、小口切り
- ② 鍋に油を熱し、さやいんげん以外の①を炒め、干しいたけの戻し汁を加える。
- ③ 調味料で味をつける。
- ④ さやいんげんを加え、混ぜる。
- ⑤ ごはんと④を混ぜ合わせる。

レシピ提供 府中中央小学校

健康推進課 ☎286-3257